

ビワ生育情報

千葉県
平成20年2月号

平成20年1月の気象

平成20年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第2及び第3半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、中でも第4及び第5半旬は平年より2.3℃低かった。月平均気温は5.1℃で、平年より0.9℃、前年より1.7℃低かった。

氷点下日数は第2及び第3半旬を除く全ての半旬で見られた。月合計は14日で、平年より4日、前年より12日多かった。

最低極温は第2、第3及び第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。1月28日には-3.3℃を記録し、この冬一番の冷え込みであった。

降水量は第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、第1半旬は降雨がなかった。月合計は44mmで、平年及び前年の46%であった。

日照時間は全ての半旬で平年を下回った。月合計は121時間で、平年の72%、前年の1.1倍であった。

表1 平成20年1月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	4.9	6.7	6.4	4	1.1	0	-0.9	-0.4	0.3
2	8.3	6.4	6.8	0	1.5	1	1.1	-1.0	-0.1
3	6.2	6.0	5.7	0	1.7	1	1.2	-1.4	-0.4
4	3.5	5.8	6.8	4	1.5	0	-1.5	-1.0	0.7
5	3.2	5.5	6.4	3	1.8	0	-1.9	-2.3	1.2
6	4.5	5.7	8.3	3	2.2	0	-3.3	-2.1	0.9
平均/計/最低値	5.1	6.0	6.8	14	9.8	2	-3.3	-3.4	-0.4

：1月の過去34年間の最低極温の平均

半旬	降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0	16	8	26	27	14
2	9	22	69	25	27	20
3	9	13	0	11	27	21
4	3	11	4	18	27	12
5	21	15	10	16	27	18
6	2	19	6	25	34	28
合計	44	96	96	121	169	113

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園研の開花始期は、「楠」が11月7日、「大房」が11月25日、「田中」が11月11日で、「楠」及び「田中」は平年より3日早かったが、前年より4日及び1日遅かった。「大房」は平年と同じであったが、前年より1日遅かった。

開花盛期は「楠」が11月24日、「大房」が12月23日、「田中」が12月4日であった。「楠」は平年より6日早かったが、前年より4日遅かった。「大房」は平年より1日、前年より5日遅かった。「田中」は平年より5日、前年より1日早かった。

開花終期は「楠」が12月17日、「田中」が1月9日であった。平年より16日及び7日、前年より39日及び35日早かった。2月1日現在「大房」の開花は終了していない。

本年の開花の進みは、10～11月の気温が平年よりやや低かったが、12月の気温が平年よりやや高く、いずれの品種も平年よりやや早いと同程度である。また1月28日に厳しい寒波が襲来し、開花の早い品種で樹冠外側の幼果に寒害が発生した。今のところ被害程度は例年並と予想される。

表2 ビワの開花期 (暖地園芸研究所)

品 種	開花始期(月.日)			開 花 盛 期			開 花 終 期		
	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年
楠	11. 7	11.10	11. 3	11.24	11.30	11.20	12.17	1. 2	1.25
大 房	11.25	11.25	11.24	12.23	12.22	12.18	-	1.30	2.25
田 中	11.11	11.14	11.10	12. 4	12. 9	12. 5	1. 9	1.16	2.13

平年：1982年～2006年の25年間の平均

3月の作業

ビワは厳寒期を過ぎて春めいてくると、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。しかし、春先は夜間冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。接木は3月になると台木の芽が動き始めるので、3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害の受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。1果房に残す果数は、1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1果残すが、少ない樹では多めに着果させる。本年の花付きは良好で着果房数が多いので、1果房に1～2果残す。3果以上着果させると果実が小さくなる。

接 木

接木の適期は、台木とする実生苗の芽が動き始める3月上旬～中旬である。接木及び接木苗の植え付けは、できるだけ天気の安定した時期を選んで行う。気温が低かったり雨天の日に作業すると、接木した苗の活着率が低くなる。また、4月に入ると台木の樹液の溢出が多くなり接ぎ難くなるので、接木は3月中に終わらせる。

【生育情報の問合せ先:千葉県農業総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>